

心豊かな世代が育つ童話の里づくり

433

―シリーズ― あなたの人権・わたしの人権

「点字の手紙」

古後小学校 5年

後藤 司

ぼくたちは、去年バリアフリーの学習をしました。

はじめに車いすの体験をしました。学校の中には、段差が多くてたいへんなことが分かりました。スロープがあっても、自分の力だけでのぼるのはたいへんでした。

次に点字の学習をしました。

ぼくたちの身のまわりには、お酒の缶や牛乳パック、宅配便のお知らせの紙など、目が不自由な人たちでも使いやすい工夫があることが分かりました。

ぼくは、目の不自由な人たちはどうやって点字を読んでいるのかなと思いました。

家に帰って調べてみると、ケチャップやソース、ボンドにも点字が書かれていました。家の中にも点字で

書かれているものがあることが分かりました。

その点字を妹と一緒に「読みの表」を見ながら読みました。これを目が不自由な人たちは指先でさわりながら読んでいるんだなと思いました。

三学期になって、日田市に住んでいる目の不自由な田中クニ子さんと一緒に学習することになりました。

しかし、田中さんは急な用事で学校に来られなくなりました。そこで、ゲストティーチャーの石松さんが田中さんからの手紙を持ってきてくれました。

手紙は点字で書かれていて、みんなで一行ずつ手分けして読みました。みんなで読んだ文章をつなげると、

「古後小学校のみなさんへ」

こんにちは。今日は行けなくてごめんなさい。みんなと点字の勉強をするのを楽しみにしていました。

みなさんが目の不自由な方たちのことを勉強していると聞きました。私も目が見えないので、私たちのこ

とを考えて下さることはとてもうれしいです。

いつか会える日がありますように。お元気でね。田中クニ子」と書かれていました。

ぼくは、これを読んで田中さんも楽しみにしていたんだなと思いました。

そこで、ぼくたちは田中さんに返事の手紙を書くことにしました。

みんなで内容を考え、古後のいいところを点字で書いて伝えることにしました。みんなで書くところを分担し、「書きの表」を見ながら点字で手紙を書きました。

「田中さん、こんにちは。お手紙ありがとうでございます。

古後は、とても静かなところです。とんびの鳴き声がよく聞こえます。古後は、とても寒いです。つららがたくさんできます。川には魚がたくさん泳いでいます。しいたけがとてもおいしいです。しいたけまんじゅうが名物です。」

古後には、親切な人がたくさんいます。ぜひ来てください。

古後小学校四年生・五年生より」
手紙を届けてもらったあと、ぼくは、田中さんが古後のことを思い浮かべながら手紙を読んでもくれるといいなと思いました。

ぼくは、はじめは点字のことをよく知らなかったけど、手紙のやり取りをして、目の不自由な人たちと気持ちを伝えあうには必要であることが分かりました。

点字の手紙もいろいろけど、今度は、直接田中さんに会って話してみたいです。

この人権作文について、意見や感想、激励など、お寄せください。また、みなさんの投稿もお待ちしております。

わたしたちをとりまく様々な不合理や差別性について気づいたことや感じたことを「二〇〇〇字程度にまとめて、住所、氏名、連絡先電話番号を記入して(匿名可)、玖珠町教育委員会社会教育課「あなたの人権・わたしの人権」までお届けください。

